

常磐自動車道

宮田川橋床版取替工事

交 付 図 書 正 誤 表

東日本高速道路株式会社 関東支社

水戸管理事務所

対象	特記仕様書 20-1 特許権等の使用
誤	<p>20. 特許に関する事項</p> <p>20-1 特許権等の使用</p> <p>本工事宮田川床版取替については、橋軸直角方向に分割され、接合断面に凹凸のガイドピンの継手構造を有するプレキャストPC床版とする。特許第6323776号一橋軸直角方向に分割した床版取替工法、特許第6150138号一プレキャストPC床版橋軸直角方向のガイドピンを有する継手構造は、(株)高速道路総合研究所、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)、(株)ピーエス三菱との共有特許工法であり、工事実施に先立ち監督員に実施許諾の報告を行うものとする。なお、その実施権を有しないときは、(株)高速道路総合研究所、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)及び(株)ピーエス三菱と実施許諾契約を締結することにより、その実施の許諾を得るものとする。</p> <p>当該工法の実施料として、プレキャストPC床版1枚当たり10,100円に(株)ピーエス三菱社の持分比率50%を乗じた金額を計上している。なお、プレキャストPC床版1枚とは、分割されたプレキャストPC床版を指す。プレキャストPC床版当該実施料は、実施許諾契約の締結に伴い(株)ピーエス三菱に支払うものとする。</p>
正	<p>20. 特許に関する事項</p> <p>20-1 特許権等の使用</p> <p>本工事宮田川床版取替については、橋軸直角方向に分割され、接合断面に凹凸のガイドピンの継手構造を有するプレキャストPC床版とする。特許第6323776号一橋軸直角方向に分割した床版取替工法、特許第6150138号一プレキャストPC床版橋軸直角方向のガイドピンを有する継手構造は、(株)高速道路総合研究所、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)、ピーエス・コンストラクション(株)との共有特許工法であり、工事実施に先立ち監督員に実施許諾の報告を行うものとする。なお、その実施権を有しないときは、(株)高速道路総合研究所、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)及びピーエス・コンストラクション(株)と実施許諾契約を締結することにより、その実施の許諾を得るものとする。</p> <p>当該工法の実施料として、プレキャストPC床版1枚当たり10,100円にピーエス・コンストラクション(株)社の持分比率50%を乗じた金額を計上している。なお、プレキャストPC床版1枚とは、分割されたプレキャストPC床版を指す。プレキャストPC床版当該実施料は、実施許諾契約の締結に伴いピーエス・コンストラクション(株)に支払うものとする。</p>
備考	特記仕様書 20-1 特許権等の使用 記載訂正

対象	特記仕様書 26-10-1 種別										
誤	<p>26-10 構造物等取壊し工 26-10-1 種別 共通仕様書18-12-2に規定する構造物等取壊し工の種別は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="336 566 1864 1068"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 566 795 626">単価表の項目</th> <th data-bbox="795 566 1522 626">区分内容</th> <th data-bbox="1522 566 1864 626">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 626 795 825">コンクリート構造物取壊し (Type A)</td> <td data-bbox="795 626 1522 825">既設コンクリート構造物 (有筋) について、コンクリートカッターによる切断、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの</td> <td data-bbox="1522 626 1864 825">P2橋脚-P4橋脚間の追越車線側の既設縁石</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 825 795 1068">コンクリート構造物取壊し (Type B)</td> <td data-bbox="795 825 1522 1068">既設コンクリート構造物 (有筋) について、ワイヤーソーイング工法による切断、コンクリート塊の作業ヤードへの運搬、作業ヤードでの小割、再資源化施設への搬出、処分を行うもの。</td> <td data-bbox="1522 825 1864 1068">橋台部の既設壁高欄</td> </tr> </tbody> </table>		単価表の項目	区分内容	摘要	コンクリート構造物取壊し (Type A)	既設コンクリート構造物 (有筋) について、コンクリートカッターによる切断、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	P2橋脚-P4橋脚間の追越車線側の既設縁石	コンクリート構造物取壊し (Type B)	既設コンクリート構造物 (有筋) について、ワイヤーソーイング工法による切断、コンクリート塊の作業ヤードへの運搬、作業ヤードでの小割、再資源化施設への搬出、処分を行うもの。	橋台部の既設壁高欄
単価表の項目	区分内容	摘要									
コンクリート構造物取壊し (Type A)	既設コンクリート構造物 (有筋) について、コンクリートカッターによる切断、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	P2橋脚-P4橋脚間の追越車線側の既設縁石									
コンクリート構造物取壊し (Type B)	既設コンクリート構造物 (有筋) について、ワイヤーソーイング工法による切断、コンクリート塊の作業ヤードへの運搬、作業ヤードでの小割、再資源化施設への搬出、処分を行うもの。	橋台部の既設壁高欄									
正	<p>26-10 構造物等取壊し工 26-10-1 種別 共通仕様書18-12-2に規定する構造物等取壊し工の種別は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="336 1855 1864 2356"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 1855 795 1914">単価表の項目</th> <th data-bbox="795 1855 1522 1914">区分内容</th> <th data-bbox="1522 1855 1864 1914">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1914 795 2113">コンクリート構造物取壊し (Type A)</td> <td data-bbox="795 1914 1522 2113">既設コンクリート構造物 (有筋) について、コンクリートカッターによる切断、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの</td> <td data-bbox="1522 1914 1864 2113">A1橋台-P2橋脚、P2橋脚-P4橋脚間の追越車線側の既設縁石</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 2113 795 2356">コンクリート構造物取壊し (Type B)</td> <td data-bbox="795 2113 1522 2356">既設コンクリート構造物 (有筋) について、ワイヤーソーイング工法による切断、コンクリート塊の作業ヤードへの運搬、作業ヤードでの小割、再資源化施設への搬出、処分を行うもの。</td> <td data-bbox="1522 2113 1864 2356">橋台部の既設壁高欄</td> </tr> </tbody> </table>		単価表の項目	区分内容	摘要	コンクリート構造物取壊し (Type A)	既設コンクリート構造物 (有筋) について、コンクリートカッターによる切断、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	A1橋台-P2橋脚、P2橋脚-P4橋脚間の追越車線側の既設縁石	コンクリート構造物取壊し (Type B)	既設コンクリート構造物 (有筋) について、ワイヤーソーイング工法による切断、コンクリート塊の作業ヤードへの運搬、作業ヤードでの小割、再資源化施設への搬出、処分を行うもの。	橋台部の既設壁高欄
単価表の項目	区分内容	摘要									
コンクリート構造物取壊し (Type A)	既設コンクリート構造物 (有筋) について、コンクリートカッターによる切断、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	A1橋台-P2橋脚、P2橋脚-P4橋脚間の追越車線側の既設縁石									
コンクリート構造物取壊し (Type B)	既設コンクリート構造物 (有筋) について、ワイヤーソーイング工法による切断、コンクリート塊の作業ヤードへの運搬、作業ヤードでの小割、再資源化施設への搬出、処分を行うもの。	橋台部の既設壁高欄									
備考	特記仕様書 26-10-1 種別 記載訂正										

対象	特記仕様書 26-10-1 種別									
誤	<table border="1" data-bbox="617 379 1604 676"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート構造物取壊し (Type C)</td> <td>既設コンクリート構造物(有筋)について、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの</td> <td>橋台部、P2橋脚及びP4橋脚部の伸縮装置の場所打ちコンクリート</td> </tr> <tr> <td>コンクリート構造物取壊し (Type D)</td> <td>既設コンクリート構造物(有筋)について、ウォータージェット工法による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの</td> <td>橋台部、P2橋脚及びP4橋脚部の伸縮装置の場所打ちコンクリート</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="617 706 1604 1299"> 26-10-2 施工 共通仕様書18-12-3 施工」に以下を追加する。 (1) ウォータージェット工法による取壊しは、「構造物施工管理要領」Ⅲ-3-1-2の規定に従って行うものとする。 (2) ウォータージェット工法による取壊しは、本体構造物に損傷を与えないよう慎重に施工するものとする。 (3) ウォータージェット工法及びワイヤーソーイング工法に使用する清水(水道水)は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わない。 (4) ウォータージェット工法及びワイヤーソーイング工法による回収(汚濁)水は沈殿槽に貯水し排水時においてその水質は、各自自治体が定める基準に適合しなければならない。なお、回収(汚濁)水の沈殿槽への貯水及び水質調整等に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わない。 (5) 回収(汚濁)水から分離した汚泥の処分については、関連する法令に基づき適切に処理しなければならない。なお、汚泥の処分に要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (6) 施工中の飛散防止対策に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わない。 (7) 小割が必要なコンクリート塊は、本特記仕様書6-1に示す作業ヤードへ運搬し、ブレーカー等により小割するものとする。 </p>	単価表の項目	区分内容	摘要	コンクリート構造物取壊し (Type C)	既設コンクリート構造物(有筋)について、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	橋台部、P2橋脚及びP4橋脚部の伸縮装置の場所打ちコンクリート	コンクリート構造物取壊し (Type D)	既設コンクリート構造物(有筋)について、ウォータージェット工法による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	橋台部、P2橋脚及びP4橋脚部の伸縮装置の場所打ちコンクリート
単価表の項目	区分内容	摘要								
コンクリート構造物取壊し (Type C)	既設コンクリート構造物(有筋)について、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	橋台部、P2橋脚及びP4橋脚部の伸縮装置の場所打ちコンクリート								
コンクリート構造物取壊し (Type D)	既設コンクリート構造物(有筋)について、ウォータージェット工法による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	橋台部、P2橋脚及びP4橋脚部の伸縮装置の場所打ちコンクリート								
正	<table border="1" data-bbox="554 1673 1587 1941"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート構造物取壊し (Type C)</td> <td>既設コンクリート構造物(有筋)について、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの</td> <td>橋台部の伸縮装置の場所打ちコンクリート</td> </tr> <tr> <td>コンクリート構造物取壊し (Type D)</td> <td>既設コンクリート構造物(有筋)について、ウォータージェット工法による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの</td> <td>橋台部の伸縮装置の場所打ちコンクリート</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="554 1970 1587 2594"> 26-10-2 施工 共通仕様書18-12-3 施工」に以下を追加する。 (1) ウォータージェット工法による取壊しは、「構造物施工管理要領」Ⅲ-3-1-2の規定に従って行うものとする。 (2) ウォータージェット工法による取壊しは、本体構造物に損傷を与えないよう慎重に施工するものとする。 (3) ウォータージェット工法及びワイヤーソーイング工法に使用する清水(水道水)は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わない。 (4) ウォータージェット工法及びワイヤーソーイング工法による回収(汚濁)水は沈殿槽に貯水し排水時においてその水質は、各自自治体が定める基準に適合しなければならない。なお、回収(汚濁)水の沈殿槽への貯水及び水質調整等に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わない。 (5) 回収(汚濁)水から分離した汚泥の処分については、関連する法令に基づき適切に処理しなければならない。なお、汚泥の処分に要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (6) 施工中の飛散防止対策に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わない。 (7) 小割が必要なコンクリート塊は、本特記仕様書6-1に示す作業ヤードへ運搬し、ブレーカー等により小割するものとする。 </p>	単価表の項目	区分内容	摘要	コンクリート構造物取壊し (Type C)	既設コンクリート構造物(有筋)について、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	橋台部の伸縮装置の場所打ちコンクリート	コンクリート構造物取壊し (Type D)	既設コンクリート構造物(有筋)について、ウォータージェット工法による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	橋台部の伸縮装置の場所打ちコンクリート
単価表の項目	区分内容	摘要								
コンクリート構造物取壊し (Type C)	既設コンクリート構造物(有筋)について、機械施工による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	橋台部の伸縮装置の場所打ちコンクリート								
コンクリート構造物取壊し (Type D)	既設コンクリート構造物(有筋)について、ウォータージェット工法による取り壊し、再資源化施設への搬出、処分を行うもの	橋台部の伸縮装置の場所打ちコンクリート								
備考	特記仕様書 26-10-1 種別 記載訂正									

対象	特記仕様書 26-18-4 材料及び施工													
誤	<p>26-18-4 材料及び施工</p> <p>(1) 仮設桁工の材料は、共通仕様書10-6-3の規定に従わなければならない。</p> <p>(2) 仮設桁工の防錆塗装の材料及び施工は、以下の規定に従わなければならない。</p> <p>1) 防錆塗装は、共通仕様書10-7-2「材料及び施工」の規定に準ずるものとする。</p> <p>2) 塗装系 仮設桁工の防錆塗装仕様は「構造物施工管理要領（令和6年7月）Ⅱ建設編3-7 塗装仕様」に準ずるものとする。 塗装系：さび止め塗装：一般さび止め JIS K 5621（2024年P版日本塗料工業会塗料標準色）</p> <table border="1" data-bbox="352 795 1818 1062"> <thead> <tr> <th>塗装部位</th> <th>塗料規格</th> <th>塗料名</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般外面</td> <td rowspan="2">P-05</td> <td rowspan="2">無機ジンクリッチペイント</td> <td rowspan="2">防錆塗装（工場塗装）</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト接合部（外面）</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト頭部</td> <td>P-06</td> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>防錆塗装（現場塗装）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※P-〇〇はNEXCOの塗料規格</p>	塗装部位	塗料規格	塗料名	摘要	一般外面	P-05	無機ジンクリッチペイント	防錆塗装（工場塗装）	高力ボルト接合部（外面）	高力ボルト頭部	P-06	有機ジンクリッチペイント	防錆塗装（現場塗装）
塗装部位	塗料規格	塗料名	摘要											
一般外面	P-05	無機ジンクリッチペイント	防錆塗装（工場塗装）											
高力ボルト接合部（外面）														
高力ボルト頭部	P-06	有機ジンクリッチペイント	防錆塗装（現場塗装）											
正	<p>26-18-4 材料及び施工</p> <p>(1) 仮設桁工の材料は、共通仕様書10-6-3の規定に従わなければならない。</p> <p>(2) 仮設桁工の防錆塗装の材料及び施工は、以下の規定に従わなければならない。</p> <p>1) 防錆塗装は、共通仕様書10-7-2「材料及び施工」の規定に準ずるものとする。</p> <p>2) 塗装仕様は下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="352 2110 1818 2377"> <thead> <tr> <th>塗装部位</th> <th>塗料規格</th> <th>塗料名</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般外面</td> <td rowspan="2">P-05</td> <td rowspan="2">無機ジンクリッチペイント</td> <td rowspan="2">防錆塗装（工場塗装）</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト接合部（外面）</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト頭部</td> <td>P-06</td> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>防錆塗装（現場塗装）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※P-〇〇はNEXCOの塗料規格</p>	塗装部位	塗料規格	塗料名	摘要	一般外面	P-05	無機ジンクリッチペイント	防錆塗装（工場塗装）	高力ボルト接合部（外面）	高力ボルト頭部	P-06	有機ジンクリッチペイント	防錆塗装（現場塗装）
塗装部位	塗料規格	塗料名	摘要											
一般外面	P-05	無機ジンクリッチペイント	防錆塗装（工場塗装）											
高力ボルト接合部（外面）														
高力ボルト頭部	P-06	有機ジンクリッチペイント	防錆塗装（現場塗装）											
備考	特記仕様書 26-18-4 材料及び施工 記載訂正													

対象	特記仕様書 26-19-6 塗装													
誤	<p>26-19-6 塗装</p> <p>(1) 防錆塗装は、共通仕様書10-7-2「材料及び施工」の規定に準ずるものとする。</p> <p>(2) 塗装系の塗色は下記のとおりとする。</p> <p>1) 塗装系：さび止め塗装：一般さび止めJIS K 5621（2024年P版日本塗料工業会塗料標準色）</p> <table border="1" data-bbox="344 685 1860 958"> <thead> <tr> <th>塗装部位</th> <th>塗料規格</th> <th>塗料名</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般外面</td> <td rowspan="2">P-05</td> <td rowspan="2">無機ジンクリッチペイント</td> <td rowspan="2">防錆塗装（工場塗装）</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト接合部（外面）</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト頭部</td> <td>P-06</td> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>防錆塗装（現場塗装）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※P-〇〇はNEXCOの塗料規格</p>	塗装部位	塗料規格	塗料名	摘要	一般外面	P-05	無機ジンクリッチペイント	防錆塗装（工場塗装）	高力ボルト接合部（外面）	高力ボルト頭部	P-06	有機ジンクリッチペイント	防錆塗装（現場塗装）
塗装部位	塗料規格	塗料名	摘要											
一般外面	P-05	無機ジンクリッチペイント	防錆塗装（工場塗装）											
高力ボルト接合部（外面）														
高力ボルト頭部	P-06	有機ジンクリッチペイント	防錆塗装（現場塗装）											
正	<p>26-19-6 塗装</p> <p>(1) 防錆塗装は、共通仕様書10-7-2「材料及び施工」の規定に準ずるものとする。</p> <p>(2) 塗装仕様は下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="344 2030 1860 2291"> <thead> <tr> <th>塗装部位</th> <th>塗料規格</th> <th>塗料名</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般外面</td> <td rowspan="2">P-05</td> <td rowspan="2">無機ジンクリッチペイント</td> <td rowspan="2">防錆塗装（工場塗装）</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト接合部（外面）</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト頭部</td> <td>P-06</td> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>防錆塗装（現場塗装）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※P-〇〇はNEXCOの塗料規格</p>	塗装部位	塗料規格	塗料名	摘要	一般外面	P-05	無機ジンクリッチペイント	防錆塗装（工場塗装）	高力ボルト接合部（外面）	高力ボルト頭部	P-06	有機ジンクリッチペイント	防錆塗装（現場塗装）
塗装部位	塗料規格	塗料名	摘要											
一般外面	P-05	無機ジンクリッチペイント	防錆塗装（工場塗装）											
高力ボルト接合部（外面）														
高力ボルト頭部	P-06	有機ジンクリッチペイント	防錆塗装（現場塗装）											
備考	特記仕様書 26-19-6 塗装 記載訂正													

対象 設計図 宮田川橋(下り線) 数量総括表 (1/165)

誤

項目番号					13-(9)	13-(14)	13-(16)	17-(31)	18-(17)			
道路名	IC間	橋梁名	上下区分	径間	オーバーレイ工	レベリング工	床版防水工	はく落防止対策工	構造物等取壊し工			
					B 1	A	床版防水工 A	A	コンクリート構造物取壊し			
					(t = 4 cm)				(TypeA)	(TypeB)	(TypeC)	(TypeD)
					m2	t	m2	m2	m3	m3	m3	m3
常磐自動車道	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-P2	806.2	73.9	823.3	-	1.3	4.1	3.4	0.633
常磐自動車道	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	P2-P4	1835.4	168.4	1891.5	201.4	6.1	-	-	-
常磐自動車道	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	P4-A2	444.2	40.8	453.7	-	-	3.8	3.3	0.631
計					3085.8	283.1	3168.5	201.4	7.4	7.9	6.7	1.264

正

項目番号					13-(9)	13-(14)	13-(16)	17-(31)	18-(17)			
道路名	IC間	橋梁名	上下区分	径間	オーバーレイ工	レベリング工	床版防水工	はく落防止対策工	構造物等取壊し工			
					B 1	A	床版防水工 A	A	コンクリート構造物取壊し			
					(t = 4 cm)				(TypeA)	(TypeB)	(TypeC)	(TypeD)
					m2	t	m2	m2	m3	m3	m3	m3
常磐自動車道	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-P2	806.2	73.9	823.3	-	1.3	4.1	3.3	0.633
常磐自動車道	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	P2-P4	1835.4	168.4	1891.5	201.4	6.1	-	-	-
常磐自動車道	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	P4-A2	444.2	40.8	453.7	-	-	3.8	3.3	0.631
計					3085.8	283.1	3168.5	201.4	7.4	7.9	6.6	1.264

備考

設計図 宮田川橋(下り線)宮田川橋(下り線) 数量総括表 (1/165) の記載訂正

対象 設計図 宮田川橋(下り線) 数量総括表 (1/165)

誤

区間名	区間	橋名	上下区分	規格	特-17															
					仮設鋼橋工															
					A-1	A-2	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	F-1	F-2
常磐自動車線	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-01	85	82	82	85	85	82	82	85	82	82	85	82	82	85	82	82
常磐自動車線	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	F2-01	300	278	300	278	301	277	303	279	303	279	303	279	309	279	309	279
常磐自動車線	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	F4-02	300	278	300	278	301	277	303	279	303	279	303	279	309	279	309	279
計					300	278	300	278	301	277	303	279	303	279	309	279	309	279	309	279

正

区間名	区間	橋名	上下区分	規格	特-17															
					仮設鋼橋工															
					A-1	A-2	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	F-1	F-2
常磐自動車線	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-02	85	82	82	85	85	82	82	85	82	82	85	82	82	85	82	82
常磐自動車線	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	F2-01	300	278	300	278	301	277	303	279	303	279	303	279	309	279	309	279
常磐自動車線	日立中央IC~日立北IC	宮田川橋	下り線	F4-02	300	278	300	278	301	277	303	279	303	279	303	279	309	279	309	279
計					300	278	300	278	301	277	303	279	303	279	309	279	309	279	309	279

備考 設計図 宮田川橋(下り線)宮田川橋(下り線) 数量総括表 (1/165) の記載訂正

誤

宮田川橋(下り線) P2~P4間仮設鋼床版詳細図(その1) S-1:50

TypeA, TypeB, TypeC, TypeD, TypeE, TypeF

側面図

断面図

平面図

77/165

TypeA	TypeB	TypeC	TypeD	TypeE	TypeF
1 1654	1663	1670	1678	1685	1692
11 1692	1700	1707	1715	1722	1730
12 1730	1738	1745	1753	1760	1768
13 1768	1776	1783	1791	1798	1806
14 1806	1814	1821	1829	1836	1844
15 1844	1852	1859	1867	1874	1882

諸元表

項目	TypeA	TypeB	TypeC	TypeD	TypeE	TypeF
全長	1882	1890	1897	1905	1912	1920
幅員	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
鋼材	SM400	SM400	SM400	SM400	SM400	SM400
鋼材の寸法	φ24	φ24	φ24	φ24	φ24	φ24
鋼材の長さ	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0

注記

1. 一は六角ボルトM22(引付)を示す。
2. 六角ボルトの孔距はφ24.5とする。
3. 鋼材の材質は全てSM400とする。
4. 全ての材料は鋼材とする。
5. 一次工と二次工の間に合わせた分割及び接合等について適切な検討を行うこと。

正

宮田川橋(下り線) P2~P4間仮設鋼床版詳細図(その1) S-1:50

TypeA, TypeB, TypeC, TypeD, TypeE, TypeF

側面図

断面図

平面図

77/165

TypeA	TypeB	TypeC	TypeD	TypeE	TypeF
1 1654	1663	1670	1678	1685	1692
11 1692	1700	1707	1715	1722	1730
12 1730	1738	1745	1753	1760	1768
13 1768	1776	1783	1791	1798	1806
14 1806	1814	1821	1829	1836	1844
15 1844	1852	1859	1867	1874	1882

諸元表

項目	TypeA	TypeB	TypeC	TypeD	TypeE	TypeF
全長	1882	1890	1897	1905	1912	1920
幅員	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
鋼材	SM400	SM400	SM400	SM400	SM400	SM400
鋼材の寸法	φ24	φ24	φ24	φ24	φ24	φ24
鋼材の長さ	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0

注記

1. 一は六角ボルトM22(引付)を示す。
2. 六角ボルトの孔距はφ24.5とする。
3. 鋼材の材質は全てSM400とする。
4. 全ての材料は鋼材とする。
5. 一次工と二次工の間に合わせた分割及び接合等について適切な検討を行うこと。

備考

設計図 宮田川橋(下り線)P2~P4間仮設鋼床版詳細図(その1) (77/165) の記載訂正

対象	金抜設計書 単価表																																																																																																													
誤	<p style="text-align: center;">単 価 表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目番号</th> <th>項 目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単 価</th> <th>注 記</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 C 2</td> <td>2,771</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 1</td> <td>3,313</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>61</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 2</td> <td>2,773</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>62</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 1</td> <td>3,919</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>63</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 2</td> <td>2,768</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>64</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 1</td> <td>3,909</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>65</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 2</td> <td>2,759</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>66</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 1</td> <td>2,936</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>67</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 2</td> <td>2,762</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>68</td> <td>81</td> <td>あと組アアンカー 埋設工 A(626)</td> <td>92</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>69</td> <td>81</td> <td>あと組アアンカー 埋設工 A(626)</td> <td>91</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>91</td> <td>単管上り管に対する手張</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	注 記	備 考	59	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 C 2	2,771	kg			見直し対象	60	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 1	3,313	kg			見直し対象	61	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 2	2,773	kg			見直し対象	62	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 1	3,919	kg			見直し対象	63	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 2	2,768	kg			見直し対象	64	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 1	3,909	kg			見直し対象	65	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 2	2,759	kg			見直し対象	66	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 1	2,936	kg			見直し対象	67	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 2	2,762	kg			見直し対象	68	81	あと組アアンカー 埋設工 A(626)	92	m				69	81	あと組アアンカー 埋設工 A(626)	91	m				60	91	単管上り管に対する手張	1	式			
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	注 記	備 考																																																																																																							
59	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 C 2	2,771	kg			見直し対象																																																																																																							
60	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 1	3,313	kg			見直し対象																																																																																																							
61	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 2	2,773	kg			見直し対象																																																																																																							
62	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 1	3,919	kg			見直し対象																																																																																																							
63	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 2	2,768	kg			見直し対象																																																																																																							
64	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 1	3,909	kg			見直し対象																																																																																																							
65	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 2	2,759	kg			見直し対象																																																																																																							
66	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 1	2,936	kg			見直し対象																																																																																																							
67	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 2	2,762	kg			見直し対象																																																																																																							
68	81	あと組アアンカー 埋設工 A(626)	92	m																																																																																																										
69	81	あと組アアンカー 埋設工 A(626)	91	m																																																																																																										
60	91	単管上り管に対する手張	1	式																																																																																																										
正	<p style="text-align: center;">単 価 表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目番号</th> <th>項 目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単 価</th> <th>注 記</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 C 2</td> <td>2,771</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 1</td> <td>3,313</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>61</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 2</td> <td>2,773</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>62</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 1</td> <td>3,919</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>63</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 2</td> <td>2,768</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>64</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 1</td> <td>3,909</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>65</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 2</td> <td>2,759</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>66</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 1</td> <td>2,762</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>67</td> <td>71</td> <td>仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 2</td> <td>2,936</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td>見直し対象</td> </tr> <tr> <td>68</td> <td>81</td> <td>あと組アアンカー 埋設工 A(626)</td> <td>92</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>69</td> <td>81</td> <td>あと組アアンカー 埋設工 A(626)</td> <td>91</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>91</td> <td>単管上り管に対する手張</td> <td>1</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	注 記	備 考	59	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 C 2	2,771	kg			見直し対象	60	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 1	3,313	kg			見直し対象	61	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 2	2,773	kg			見直し対象	62	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 1	3,919	kg			見直し対象	63	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 2	2,768	kg			見直し対象	64	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 1	3,909	kg			見直し対象	65	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 2	2,759	kg			見直し対象	66	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 1	2,762	kg			見直し対象	67	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 2	2,936	kg			見直し対象	68	81	あと組アアンカー 埋設工 A(626)	92	m				69	81	あと組アアンカー 埋設工 A(626)	91	m				60	91	単管上り管に対する手張	1	式			
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	注 記	備 考																																																																																																							
59	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 C 2	2,771	kg			見直し対象																																																																																																							
60	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 1	3,313	kg			見直し対象																																																																																																							
61	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 D 2	2,773	kg			見直し対象																																																																																																							
62	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 1	3,919	kg			見直し対象																																																																																																							
63	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 E 2	2,768	kg			見直し対象																																																																																																							
64	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 1	3,909	kg			見直し対象																																																																																																							
65	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 F 2	2,759	kg			見直し対象																																																																																																							
66	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 1	2,762	kg			見直し対象																																																																																																							
67	71	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G 2	2,936	kg			見直し対象																																																																																																							
68	81	あと組アアンカー 埋設工 A(626)	92	m																																																																																																										
69	81	あと組アアンカー 埋設工 A(626)	91	m																																																																																																										
60	91	単管上り管に対する手張	1	式																																																																																																										
備考	仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G1及び、仮設鋼床版工 仮設鋼床版 G2の数量の記載訂正																																																																																																													